

Kanagawa East
Rotary
Club



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2022-2023年度 第33週報 No. 2210 2023年(令和5年)3月24日 第2210回 例会記録 4月7日発行

本日〈4月7日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献立 洋食
- ◆ 卓話 『クラブフォーラム(クラブ奉仕)』
テーマ「クラブライフを楽しく送るには」



桜とランドマーク

司会

加野 亮一 副幹事

点鐘

赤堀 伽寿一 会長

斉唱

「手に手つないで」
ソングリーダー 角野 弘幸 会員

四つのテスト

中野 真理 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介

2021-22年度R財団奨学生 伊藤 主峰 様
2023-24年度R財団奨学生 杉田 采夏 様

会長報告

赤堀 伽寿一 会長

- ・2023年度米山奨学生リ・シンウさんのカウンセラーが、馬場会員から茂木知子会員に変更になりました。米山奨学会から茂木会員に委嘱状が届いておりますのでお渡し致します。



2022-2023年度 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ



**IMAGINE
ROTARY**

第2590地区 ガバナー 志村 雄治

会 長	赤 堀 伽寿一	会 計	長 野 毅
会長エレクト	田 中 龍太郎	副 会 計	渡 邊 淳
副 会 長	金 森 欣 一	S A A	西 山 潔
副 会 長	伊 東 英 紀	副 S A A	植 田 清 司
幹 事	馬 場 佳 子	副 S A A	加 藤 仁 昭
副 幹 事	加 野 亮 一	クラブ会報	川 崎 典 子

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 崎陽軒本店
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 〒241-0014
横浜市旭区市沢町 772-8
TEL: 045-442-7131 FAX: 045-442-7978
創立記念日 昭和51年5月29日

なお、馬場会員には2023-24年度R財団奨学生 杉田采夏さんの
のカウンセラーをお引き受け頂いております。

幹事報告 馬場 佳子 幹事

- ・次週の例会は休会となります。お間違えないようよろしくお願い致します。
- ・次々週4/7の例会卓話時間はクラブ奉仕クラブフォーラムとなります。よろしくお願い致します。

誕生日祝 網野 雅広 会員 (3月25日)



結婚記念日祝 渡邊 淳 会員 (3月25日)
池田 広樹 会員 (3月30日)



スマイルボックス 西山 潔 SAA

網野雅広君 誕生日祝い、ありがとうございます。WBC優勝と合わせて大きなプレゼントをもらった気持ちです。
渡邊 淳君 今年も結婚記念日を祝っていただき、ありがとうございます。桜の季節を迎えると、花吹雪の結婚式の頃を思い出します。これからもどうぞよろしくお願い致します。
池田広樹君 結婚のお祝い、ありがとうございました。
赤堀加寿一君 伊藤主峰君、卓話よろしくお願い致します。また、杉田采夏さん、財団奨学生として頑張ってください。
山本 登君 WBC、シビレター！

伊東英紀君 伊藤主峰君、本日の卓話、楽しみにしています。
山田正憲君 伊藤君、本日の卓話、楽しみにしています。
天野公史君 新会員の皆さん、入会おめでとうございます。歓迎会には出れませんが、大いに歓迎しています。
馬場佳子さん ①伊藤さん、本日の卓話、よろしくお願い致します。②杉田さん、ようこそお越し下さいました。③WBC優勝おめでとうございます！山川は「打点1」でした。(笑)
田中龍太郎君 誕生日祝い、ありがとうございます。
金森欣一君 伊藤主峰様、本日の卓話、よろしくお願い致します。
岡部雄一郎君 ①侍ジャパン！世界一おめでとうございます！②伊藤様、本日の卓話、よろしくお願い致します。
加野亮一君 うちの枝垂れ桜がまったく枝垂れず、2次曲線で天に向かって伸びています。
角野弘幸君 侍ジャパン優勝おめでとうございます。ブラボー！！
北村大輔君 ①伊藤主峰君、ようこそ。本日はよろしくお願い致します。②杉田采夏さん、ようこそ。頑張ってください。
西山 潔君 ①WBC侍ジャパン優勝感動しました。②杉田采夏さん、ようこそいらっしゃいました。③伊藤主峰君、本日の卓話、よろしくお願い致します。楽しみにしています。

3月24日	16件	49,000円
本年度累計		1,513,547円
年度目標進捗状況		- 11%

出席報告 渡邊 淳 出席委員

会員総数	50名	(31+19)名	
出席会員数	33名	(21+12)名	
出席率 76.74%			
ゲスト	2名	ビジター	0名
前回補正後	86.67%	前々回補正後	88.89%

帰国報告 ～スペインナバラ大学への派遣を終えて～

2021-22年度R財団奨学生 伊藤 主峰 様
(紹介者 加野 亮一 会員)



はじめに

この度は二度目となる卓話での留学報告の機会をいただきありがとうございます。自らの体調不良により帰国してから半年間ほど経ってからの報告になってしまいましたが、少しばかりの間、お耳を傾けていただけると幸いです。本日は、現地の生活、活動報告、ロータリー活動、帰国後の活動の4つの事柄についてお話させていただきたいと思います。

現地での生活

派遣先として選んだナバラ大学はスペインナバラ州パンプローナという町にございます。国内の北部に位置し、人口は約20万人ほどです。パンプローナと言えば、毎年7月6日から15日まで開催されるサンフェルミン祭が世界的に有名ですが、昨年はコロナ後初の開催となり、自分も名物のエンシエロ（牛追い）に参加しました。普段は、落ち着いたある住み良い町でパンプローナから車で2時間ほど行ったところにピレネー山脈の大自然が広がっている魅力的な町です。自分はそのような環境を存分に活用するために大学の登山部に入り、仲間たちと雄大に触れながら1年間を過ごしました。

活動報告

続いて活動報告をさせていただきます。私は、ナバラ大学の人文科学部に所属し、バスク語や民俗学を学んでいました。ここでバスク語を学ぼうと思ったきっかけについてまずお話ししたいと思います。大学1年次から関わっていた湯河原町での自然教室を行っている中で自然と人間との関わりに興味を持つようになりました。そこで大学内でアイヌ語のゼミに所属し、アイヌの自然と関わる精神について学びました。先住民言語として共通するバスク語はその復興がロールモデルとなっており、その現状と併せてピレネー山脈で培われた人々の生活や文化に根付く自然と人間との精神文化を学びたいと思い、大学の提携先で唯一のバスク語圏であったナバラ大学に留学することを決めました。では、バスク地方とはどのような地域を指すのでしょうか。バスク語でEuskal Herriaと言われるバスク地方はスペインとフランスにまたがり、「バスク市町村共同体（フランス領バスク）」、「バスク自治州」、「ナバラ自治州」の3つの行政区画に別れます。私が住んでいるナバラ自治州はスペイン語とバスク語が公用語として使われている地域です。私はそのような地域にて、バスク語を学ぶ日本人留学生として地元メディアに3回インタビューを受ける機会がありました。それはバスク語が系統不明の孤立言語であり、歴史の中で抑圧されてきた背景を持つ珍しい言語であるからです。そのためバスク地方の人口320万人の内、約3割ほどの約75万人が話す言語となっています。歴史を紐解いていくと、中世で力を保持していたバスク語圏が王位継承に伴う内戦の敗戦などによって力を失っていき、フランコ独裁政権時は40年間に渡って40年間に渡って禁止されてきたことがわかります。ETAというテロ行為によって分離独立を進める過激な政治集団も出現しましたが、2018年に解散しています。今も尚、そのような歴史を背負って言語復興、回復、発展の歴史を今も刻んでいるのがバスク地方です。

自分は学期前半はバスク語と各地で伝説が残る神話について学び、後半は現代の人々がどのようにそのような歴史、文化の

中で生きているかに最も関心を持つようになりました。そのためバスク語の継承に関する世代間での違いや、バスクの民俗学の中でも仕事と関わりがある物質文化の調査に移行しました。中でもドキュメンタリー映画をきっかけに知ったバスクの炭焼き職人について特に力を入れて調べました。実際に伝統的な炭焼きの方法を続けている職人の方と繋がり、現地でインタビューをさせていただくこともできました。インタビューをする中で土窯の作り方や木の呼び名が独特であり、自然と関わる知恵が言葉の中に保存されている姿を目にすることができました。また、バスク語についても特に若い世代を中心に活発に普及が進んでいることを学びました。

ロータリー活動

次に、現地でのロータリー活動についてもご紹介したいと思います。受け入れロータリークラブであるパンプローナロータリークラブは1981年に設立したクラブであり、20人弱の会員数があります。平均年齢は50歳ほどで40代から50代のロータリアンを中心に社会貢献プロダクトの販売、青少年交換プログラム、障害者支援、ウクライナ難民支援など様々な活動を積極的にを行っています。その中の社会貢献プロダクトについて紹介させていただきます。これは、ナバラ州の特産品であるアスパラガスの品評会を主催し、世界一のアスパラガスとして選抜された商品を寄付付きの商品として販売するというものです。売り上げの半分がポリオ撲滅基金となり、その半分が地域支援に用いられるというものでした。このような活発な奉仕活動の姿を目にしており、企業のように積極的に資源を持ち寄ってスピード感を持っていく戦略的に奉仕プロジェクトがあるという存在に驚かされたと共に、資金源を継続的に取め続け、本当に必要な地域での奉仕に充てるという支援の形があることも学びました。世界全体のロータリークラブがそれぞれの役割を担って世界を良くしていつている姿に感銘を受け、自らができる奉仕活動について考えさせられました。

帰国後の活動

最後に帰国後の活動についてもお話させていただきます。帰国後、ゼミの活動で北海道二風谷を訪れアイヌ語復興の現場を見学しました。都内でもそのような活動を見学し、学生としてどのような立場で復興のお手伝いができるのかを日々考えております。また、湯河原町での自然教室の活動も継続し、今年の1月には、幕山で約30人の参加者と共にハイキングを行いました。卒業論文として題材とする予定の湯河原のミカン農家の方々にもインタビューを続け、それらの記録を子どもたちに紹介するイベントも行いました。卒業までにこの湯河原で自然と共生する文化を作る一助になることを目標に今後も取り組んで行く予定です。また、校友会活動にも積極的に参加し、再来月には新奨学生の歓迎イベントとして奨学金委員会の方々と共に幕山でのハイキングを計画しているところです。

最後に

最後になりますが、このような留学という貴重な機会をいただき、加野カウンセラーはじめ、推薦ロータリークラブとしてこれまで支えて下さった皆様に心より感謝いたします。

スペインの経験で得た最も大きいものは、使命感だったと私は思っています。壮大な自然環境に恵まれ、学びを追求し、社会のために働くロータリアンの姿を間近にした1年でした。地区奨学生として重点分野はなかったものの、自らの人生の重点分野として「環境」は考えるようになりました。将来は、野外教育のスペシャリストになることを目指しつつ、現在はエネルギー問題を解決できるような再生可能エネルギー事業を担う企業に就職したいと考えております。この留学の経験を通して大きくビジョンが開けて今と未来の自分にとって大きな分岐点になりました。今後も、ご支援いただいた期待を胸に留め、地球全体に貢献できるような人材になれるように精進して参ります。ご清聴ありがとうございました。



パンプローナRCよりバナーを頂いてまいりました

◎ 2023-24年度R財団奨学生に合格された杉田采夏さんがご挨拶にいらっしゃいました



ぶ商店街は、大阪の中心街へ行かずとも何でも揃うと地元の人々から愛され続けているようです。



千林駅前アーケード街



映画館《千林松竹》を譲り受けて開店したダイエー2号店があったところ



大阪で人気の激安スーパー《玉出》はパチンコ屋と間違えそう

クラブ会員の広場

『チョイ悪おやじの一人旅』

矢野 修二

ダイエー発祥の地である大阪千林駅前商店街の続きです。アーケードはメンテナンスされていて新しく色々な店が立ち並

次回〈4月14日〉の予定

テーマ「今どきのクレジットカード活用方法について」

卓話者 西野 様

(紹介者 赤堀伽寿一 会員)